

## SAR 干渉画像による地殻変動差分画像について

### Non-elastic surface displacement detected from SAR interferometric image

国土地理院地理地殻活動研究センター

国土地理院では、干渉 SAR により平成 19 年（2007 年）能登半島地震に伴う地殻変動を詳細に把握するとともに、その内容を 4 月 12 日に記者発表した<sup>1)</sup>。図 1 (a)に示した SAR 干渉画像から、石川県輪島市門前町付近に最も隆起量の多い場所があり、その量は 35cm と見積もられている。

しかし、詳細に SAR 干渉画像を見ると、地殻変動によるものではない、局所的な地表変位が多数示されている。これをより明確にするため、図 1 (a)の地表変位から、断層モデルより推定される地殻変動の地表変位を取り除いた画像を作成した（図 1 (c)）。

1) <http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2007/0412.htm>

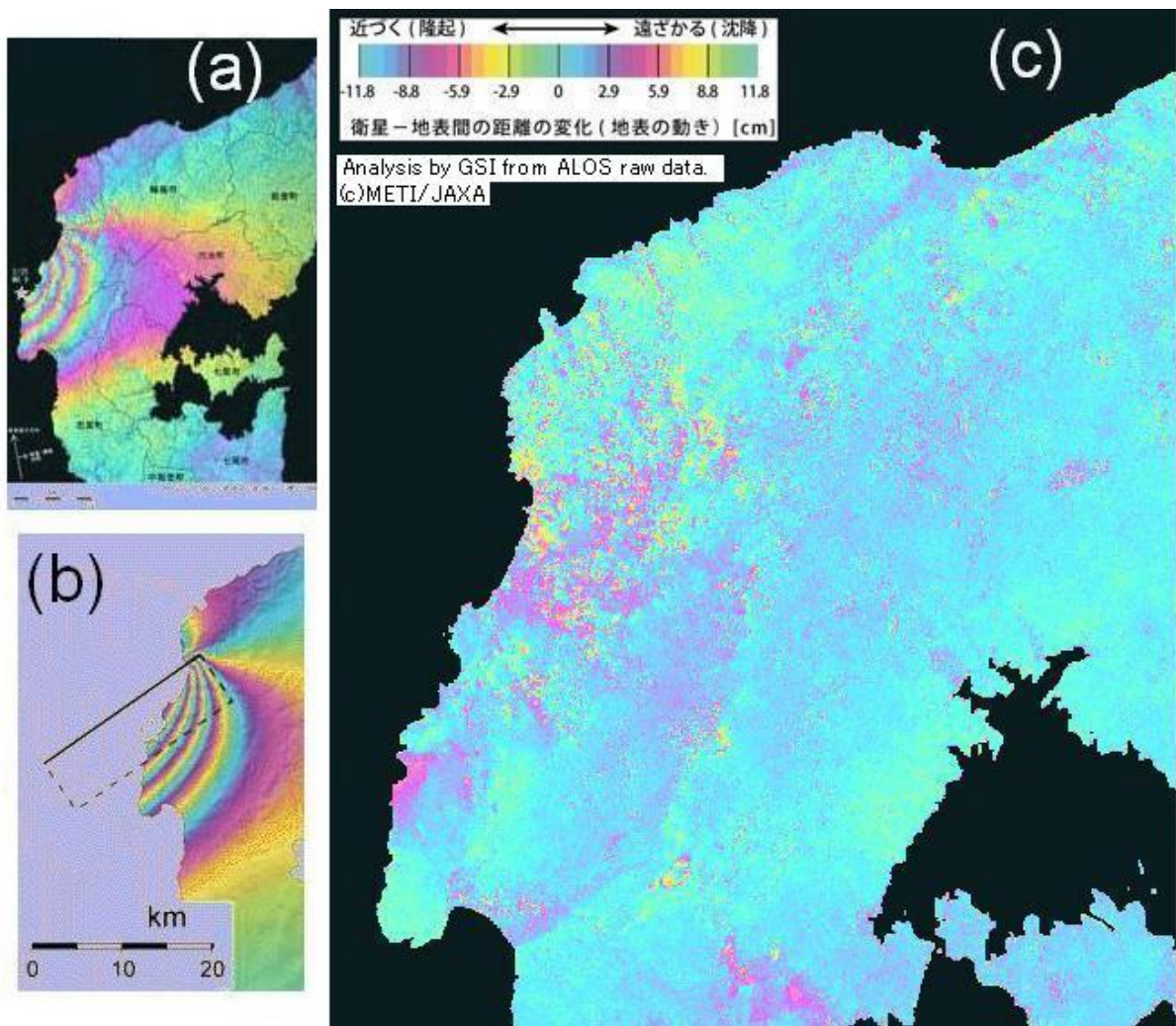


図1 (a)SAR 干渉画像, (b)電子基準点の挙動から推定された地殻変動のパターン, (c)地殻変動のパターンを除去した後の SAR 干渉画像。